

令和4年鳥獣被害調査結果報告

ニホンザルにご用心!!

市内では、イノシシやニホンザル、ニホンジカなどの鳥獣による農作物の被害が大きな問題となっています。市では毎年、有害鳥獣の捕獲、防護柵の設置とともに、各地域における被害状況の調査を行い、実態把握に努めています。

鳥獣被害調査結果

令和4年の被害総額は、前年から539万円減の2,494万円(前年比82.2%)となりました。2年連続で減少し、過去5年では一番低い額となりました。

市全体の被害率(被害戸数/回答戸数)は29.9%と、過去2番目に低い率となり、一戸当たりの被害額については、30,416円と過去5年で一番低い額となりました。

地域別の被害額は、大和と高鷲の被害額が600万円を超えるなど被害が大きく、一方で、白鳥では、前年比38.2%と大きく減少しました。【表①参照】

鳥獣別被害額では、ニホンザルが、983万円(前年比129.3%)であり、被害額全体

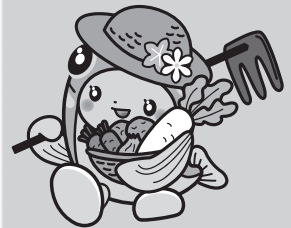
に占める割合が、39.4%と、鳥獣別では最も大きくなりました。

一方で前年被害額が一番多かったニホンジカは、394万円(前年比37.8%)と大幅に減少しました。イノシシの被害額は5年連続で減少しており、豚熱による影響が続いていると考えられます。

【表②参照】

作物目別では、水稻の被害額が487万円、前年より835万円減少しましたが被害としては一番大きく、その他、ダイコンやニンジン等の根菜類、カボチャやトマト等の果菜類で被害の50%以上を占めています。また、ハクサイ、ネギ等の葉茎菜類の被害額が前年より213万円増(前年比384%)と被害が増えています。【表③参照】

引き続き防護柵等の対策をお願いします。



▼調査期間：令和4年1月1日から令和4年12月31日
▼調査対象：市内全農家(各地区の農事改良組合に所属する農家)
▼調査方法：農事改良組合長を通じて調査票を各農家に配布し、農産物の被害の有無、被害面積(被害量)等を報告していただきました。

市の鳥獣被害対策について

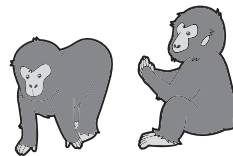
市では、農作物の鳥獣被害対策として、有害鳥獣の捕獲に対する補助等を行っています。

イノシシ、ニホンザル、ニホンジカによる被害は依然として大きく、継続して捕獲を行っていく必要があります。また、特に被害が大きかったニホンザルについては、捕獲を強化していく必要があります。【表④参照】

今後の対策としては、防護柵や、追い払いなどを合わせて行うと効果的です。また、個々の対策はもちろん、地域ぐるみの対策をお願いします。

農林水産部農務水産課

67・1835



【表②】 鳥獣別被害額

(単位:万円)

鳥 獣	令和3年	令和4年
イノシシ	444	362
ニホンザル	760	983
ニホンジカ	1,041	394
カモシカ	351	369
小型哺乳類(ハクビシン等)	259	190
カラス	146	148
その他	32	48
合 計	3,033	2,494
一戸当たり被害額	36,899円	30,416円

【表①】 地域別被害額

(単位:万円)

	令和3年	令和4年(被害率)
八 幡	440	341 (44.7%)
大 和	753	694 (26.7%)
白 鳥	552	211 (18.8%)
高 鷲	745	615 (35.6%)
美 並	192	276 (34.9%)
明 宝	211	247 (31.2%)
和 良	140	110 (29.3%)
合 計	3,033	2,494 (29.9%)
被害戸数	822戸	820戸
一戸当たり被害額	36,899円	30,416円
回答率	59.5%	51.9%
被害率	25.9%	29.9%

※調査対象：市内在住の農事改良組合員
配布：5,290戸 回答：2,744戸
※被害額：被害面積(数量)×作物の基準単価
※一戸当たり被害額：被害額/被害戸数
※被害率：被害戸数/回答戸数

【表③】 作物目別被害額

(単位:万円)

品 目	令和3年	令和4年
水 稻	1,322	487
根菜類(大根、人参等)	306	440
葉茎菜類(白菜、ネギ等)	75	288
洋菜類(ブロッコリー等)	2	8
果菜類(カボチャ、トマト等)	412	455
豆類(大豆、インゲン等)	37	36
土物類(ジャガイモ等)	131	244
花卉類(南天等)	57	20
果物類(栗、柿等)	235	225
その他(牧草等)	456	291
合 計	3,033	2,494
一戸当たり被害額	36,899円	30,416円

【表④】 有害鳥獣の捕獲状況

(単位:頭)

鳥 獣	令和3年度	令和4年度
イノシシ	139	210
ニホンザル	155	261
ニホンジカ	3,281	2,714
合 計	3,575	3,185

※狩猟期中の個体数調整を含んでいます。